大泉の子ども

鶴岡市立大泉小学校　学校だより　第346号　（8月号）　　令和8年8月28日発行

「自分から」挑戦できる2学期に

長いと思っていた夏休みもあっという間に終わり、２４日から２学期８４日がスタートしました。登校してくる子どもたちとあいさつを交わしたり、各教室で夏休みのこと等を楽しそうに話している様子を見たりしていると、学校が動き出したな、という実感がわいてきました。

始業式では、夏休み前にお話しした３つのこと（①計画的に学習しよう②お家の人との時間を大切にしよう③元気に過ごそう）についてどれぐらいできたか手を挙げてもらいました。多くの子どもたちが「よくできた」「できた」に手を挙げてくれました。正直に「あまりできなかった」に手を挙げていた子もいましたが、それでも、一人一人充実した夏休みだったことが分かりました。



緊急時に備え、救助袋の使い方と消火栓の使い方について夏休み、職員研修を行いました。

次に、２学期に頑張ってほしいことを伝えました。１学期取り組んできた「声」「あたたかい言葉」の２つを更にレベルアップするために「**自分から**」を加えてほしいことをお話ししました。「誰かから言われたから」「しないといけないから」することには楽しさはありません。「自分から」挑戦することでやり遂げた楽しさやうれしさをたくさん味わってほしいと思っています。

今年の夏は、熊本や関東での地震、千葉での豪雨災害など大きな災害がありました。鶴岡では大きな災害はありませんでしたが、今後起きないとは言えませんし、暑さやクマの目撃情報など様々ないのちにかかわる課題も多くあります。引き続き、子どもたちの安全にも最大限の注意をはらいながら教育活動を進めてまいります。２学期もご理解・ご協力をお願いします。

7月17日（金）地区懇談会の報告

Q：自転車の乗り方指導をしてもらいたい。

A：次年度４月の交通安全教室でできないか、検討をしていきたいと思います。今年度については、６月の校長講話の中で自転車の安全な乗り方についてお話をしました。

Q：子ども１１０番の場所の確認の仕方はどうなっているのか。

A：確認が必要なところがあります。現在お願いしているところに、まず学校で確認をし、最新のものにしていきたいと思います。

Q：学校のプールは現在どうなっているのか。回数を増やすことはできないのか。

A：現在、水を入れた状態でそのままになっています。回数は、昨年度６回でしたが今年度７回にしています。他の学校も利用しているため、これ以上は増やすことは難しいです。

Q：熱中症対策等のバスをもっと早い時期からにしてほしい。

A：今年度、７月から３月までと実施期間が延びました。春にクマの目撃情報なども多くなることから、引き続き要望はしていきたいと思います。

Q：学区内で起きた事故について情報を学校だよりに載せて伝えてもらうことはできないか。

A：事故の内容によって、難しいところもあります。個別に連絡を入れさせていただきます。

Q：塩分チャージを持たせてはだめか（熱中症対策として）。

A：塩分チャージでの塩分補給は、状況によっては塩分の過剰摂取となることもあります。登校時の塩分補給は、朝ごはんをしっかりとってきていただくことでお願いします。